

工業蒲田

東京 都電蒲機 大田 田圃 所目丁 行田蒲 発田 7業 田(732) 行 18協 所 2同 目 1組 29番 3合 地 8 会 人員 蔵所 9~2 所

新春放談あれこれ

社長がやらなければ

司会者 明けましておめでとう。皆様方には昭和六十三年の新春を健やかに迎えられました。心をからお慶びを申し上げます。本日は新春恒例の放談会という事で集りました。年明けましておめでとう。なにかと多用の中を出席いただきましたことを心から厚くお礼申し上げます。

さて、「温暖知新」、古きを尋ねて新しきを知るといふ言葉がありますが、一歴史に学ぶ、という言葉を拝見しますが、これからの日本経済は、今までの経験則だけでは把握することができない、ものか、お聞きいただければと思います。Aさんからお願いします。

A 先ず固定費の削減です。私事恐縮ですが、昨年暮にABC調査というのをやりました。Aというものは命次策でと見え

でも文句を言わずに転任しようとたか、あとはいくら。Bは、Aほどではないがそれに近い人です。Cは、転任は勘弁してほしい、しかし、どうしてもいかにな

のうちにガソリン価格が下がってす。しかし、それを俺が言えは社長は喜んで採用するだろうから、皆んなに憎まれるのは嫌だと気がついていながらそのままにして

B Aさんね、これは経営の本質論だと思っただけですが、そういう嫌なことは社長がやらない限り駄目ですね。社長の代行をする人でも、そういう嫌なことは、なるべく避けたい。この人が本音なんです。

年頭ご挨拶



理事長 千 葉 博

新年明けましておめでとうございます。組員の皆様にはよいお健康にて、昭和六十二年の新春を統一統括お揃いで迎えられたこと衷心より賀賀申し上げます。昨年、当組合の運営に格別のご支援とご奉仕を賜わり、お陰様で、金融、情報化をはじめ、新築材・エレクトロニクス・パイオテクノロジー等のハイテクの進展、急激な円高の進行、四次に亘る公定歩合の引下げ等、戦後最大の激戦、大不況にめげず越年できましたことは、誠に同慶の至りであります。心から敬意と感謝を表する次第でございます。

円ドル相場は八月二十日は五倍有の大激動の年でありました。一月三四銭の最高を記録したのち十二月に入って二六〇円台にや戻りましたが、円高の悪影響を受けて経済は低成長となり、また、高度先端技術等による第三次産業革命の進展による市場の成熟などが加わり、さらに労働問題では男女雇用機会均等法、労働者派遣法、この円高は、輸出関連産業に海外現地生産化を加速させたことにより、国内産業の空洞化という新

これは、一企業一業東の努力で解決のつく問題ではなく、政府の積極的な支援策が必要でありました。しかし、企業の経営には、他力を当てにせず、常に自助努力による先行を見通した経営戦略が従来にもまして求められております。貿易摩擦問題は、わが国の輸出

に透過しました。米国の景気も緩やかな回復基調に向い、国際収支も若干の改善が見込まれるので、景気の先行き是最悪期を脱し、やや上向くとの見方が出ております。以上の見方は、昨年引続いて大変きびしい経済環境のもとで新年を迎えましたが、企業は個々の特色を十二分に発揮して、時流に即応した発想の転換を図るとともに、合理化、効率化、研究開発等を着実に実行し、「為せば成る」の精神で先取りする勇氣と決断が必須であります。

激動する経済の動向に対応するため、今日ほど平素の「縁を大切」に、組合員相互のコミュニケーションを図り、同志愛を基盤として和と團結のもとに英知と総力を結集して、共存共栄の実を挙げることが、協同組合本来の姿と確信いたします。

当組合は、皆様のご協力に基づいて、各種の事業を積極的に実行しておりますので、組合の使命を

法、高齢者雇用安定法の施行などにより、経済・労働問題に亘り大きな影響を受け、百十四年の歴史を誇る国鉄も行革により今年四月には分割民営移行に決定し、余剰人員六万人と累積赤字三千兆円をかかえて終止符を打つことになり、まさに企業経営の環境は未

しい課題を投げかけ、雇用にも悪影響を及ぼしており、また、産業構造の調整によって、事業縮小、廃業、追込まれて企業内余剰人員の整理や一時休業などの雇用問題を生じている、石炭・造船・鉄鋼・アルミ等の業界の苦悩は深刻で

入が均衡を得るように至らぬ限り、米問はもとより、昨今まひし輸入の増大を求める欧州やアジアの諸国とともに、全世界に拡大して四面楚歌となりがねないので、経済構造の調整、思い切った市場開放、内需と輸入の拡大、科学技

たか、あとはいくら。D以下の人が三割もいたのに一寸ショックでしたが、反面、私は安心しました。三〇〇の人はうしろ髪をかかれる思いをせずに減量できると。もともと他人様だったのだ、ただ粉れ込んでいただけなんだ。

司会者 飽くまであなたについて行くと云っているのではないですか、気が軽いわけですね。Aさん、この三〇〇の人に対しては気が軽いです。それから、いまのことですが、経費の節約をお願いしますよと言っているのですが、さばばば効率が上がらないのです。私どもの岩手工場ではガソリン

手が出しているのですが、昨今手が出ないと思います。役員たる者で、そんなことに気がつかない、答はないと思うので

(前頁より)

いざ経営を革新したり、荒療治をしなければならぬというところになると、やはり、どちらかと言うと、自分の企業という考え方はなく、給料を貰いに来ているのです。基本的立場が違ってくるのです。これは、労務問題がもっともつと発展していった場合、その人たちが考えていることが明快な形になって出てきますよ。

経費削減で、今までの手当の見直しという程度の程度なら、まだ社長がきびしく言うことではないかなるでしょうが、しかし、社長と一心同体の考え方を彼等に期待するのは、一寸むずかしいのではないかと思います。

それから、司会者が仰った生き残りという点ですが、勿論、生き残ったように、できるだけ経費を削減して、できれば減量して、できるだけ赤字を少なくしていくというには必要ですが、少くとも二十年以上経営に携ってきた経営者なら、もう一度しるを振り返って、そのときどきの苦境をどう乗り切ってきたか、反復してみる必要もあるのではないかと、良き良きのことばを覚えていますが、苦しいときは必ず覚えてい

る筈ですから、そのときどきの精神力で立ち向かったか、どういったふうなものの方で先を考えたか(先が読めたか読めなかつたかは別として)、ここまで到達した過程をもっと一度見直してみても必要ではないかと思えます。

今までの二十年間の中で、不況のときには、まあ、それは豫計赤字が純資産を上廻ったこともあったのではないかと、それをどうしてここまで漕ぎつけてきたのか、ただそのときは四十歳だったが、今は六十歳代になっているのだと

いようなハンディキャップは各々あると思いますが、また、司会者も言われたように、世の中の動きとか仕組みとかいうようなものは、そのときどきによって金も違いますが、しかし、基本的な考え方は変わらないのではないかと思いますので、経営者は精神減らさずにはいられないと思います。余り余りな余裕をもちながら、この反省を繰り返して、自分の企業に対する考え方が出てくるのではないかと思います。

司会者 Cさん、生き残りをどう考えられていますか。
C 私では、一昨年末までは電車に例えれば特急電車に乗ったことなもので、情報なんから余り気にせずとも、仕事は向うからやってきて、終着駅に早くつき、それなりの効果があったわけですね。

人のやらない仕事 人の嫌がる仕事

司会者 Cさん、生き残りをどう考えられていますか。
C 私では、一昨年末までは電車に例えれば特急電車に乗ったことなもので、情報なんから余り気にせずとも、仕事は向うからやってきて、終着駅に早くつき、それなりの効果があったわけですね。

E 終戦直後のことですが、或る会社で成果配分方式を取り入れていて、今月はあなたたちに百万円配分されたところ、八十万円の手間をかけて、材料も同じように配分されたら、あなたたちはどう思いますか。
F 私どもでは係長以上に日誌をつけさせているのですが、不良を始めて出している、不良の対応を始めていかなければならないと思っています。

D 基本的には、私は私どもの業界の仕事がゼロにはならないと思っています。ゼロにならないのなら、自分のところが最後の最後まで生き残るのだという覚悟でやっていく積りであります。



G 本人が仕事の始めと終りにタイムを入れることになって、いま間のチェックは？
G そのような時間もチェックさ

F 一昨年の十一月頃にファンヒーター中毒事件があつて、イメージダウンのため、昨年は三分の二を予想をたて、その対策として徹底的な合理化と新製品開発に手眼をおき、金貨を動員しました。幸いに、石油関係のポンプの売上は予想どおり三〇〇万アップしましたが、他のもので補い、売

出席者

(五十首順)

- 石森 憲蔵 株式会社 東電舎
- 伊勢 養治 株式会社 妙徳
- 市川 宗 勲 日本中空鋼株式会社
- 岩崎 登喜雄 株式会社 三協アルマイト
- 海老名 正 教 エビナ電化工業株式会社
- 正田 竜三 蒲田工業協同組合
- 千葉 博 太洋工業株式会社
- 戸上 皓司 蒲田工業協同組合
- 長坂 基秀 長坂精機株式会社
- 西谷 勝美 株式会社 東洋精機製作所
- 福島 喜勝 第一シャーリング工業株式会社

どうすれば生き残れるか

司会者 Fさんのところは？
F 一昨年の十一月頃にファンヒーター中毒事件があつて、イメージダウンのため、昨年は三分の二を予想をたて、その対策として徹底的な合理化と新製品開発に手眼をおき、金貨を動員しました。幸いに、石油関係のポンプの売上は予想どおり三〇〇万アップしましたが、他のもので補い、売

(次頁へ)

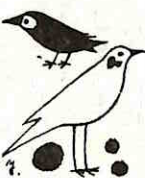
(前頁より)
きています。とつちへ転んでも、十二・三十人ぐらゐの小きな会社ですから。
そこで斬り込んでいく覚悟があれば、恐らく大した差支が出ずに、生き残れるのではないかと思っています。ですから、今年は全部いなくなつたときの青写真も書いておこうと思つています。

B 合理化とか革新とかいつのは、一割や二割が目標は、従来の考え方によらされてなかなかできないものです。それが五割とか七割が目標となれば勇気が奮えます。

司会者 男の見栄は企業をつぶすと言われはりますが、そんな虚栄心を捨てなければいけないといふことですね。
まだまだお話しはききないと思つていますが、定刻も大分過ぎましたので、このへんで本日の放談会を終らせていただきますと思つていす。いずれにしても、先ず健康であるということが経営の第一条件です。健康に留意され、尚

居蘇(いそ)とは、勿論、正ともかくとして、この薬酒が蘇蘇と名付けられたのは、次のような謂(いわれ)からだとされています。
この「居蘇」という字は、も昔、中国が唐といつていた時代に、温病を、俗に仙人といわれ

ことばの泉



とは中国で「蘇」と呼ばれた鬼を「居る(ほふる、殺す)」草家(くさや)に住んでいまして、この意味を持つといわれ、また、この居蘇という字の意味は、

れていた孫子逸(そんしはく)

屠

蘇

という人が、居蘇(いそ)といふ名を「屠蘇」と呼ぶようになったといふこと。この孫子逸は、毎年大みそか

の夕方になると、一つの袋に薬を入れて井戸につけさせ、元旦になるとこれを取り出し、酒樽の中に入れて飲んでいました。これを飲めば、その年は病氣にかからないといふので、いつ

しか里人も真似をするようになった。その名も「屠蘇庵」になつて、「屠蘇」と呼ぶようになったといふこと。わが国では、平安朝の初期、

組合員だより



代表者 川島慎治氏
代表者 松縄 淳氏
代表者 木戸隆博氏
代表者 小林章彦氏
代表者 同和発条株式会社(大田区大森南一ノ七二二)、代表者 川島孝南(大田区大森南一ノ七二二)
代表者 同和発条株式会社(大田区大森南一ノ七二二)
代表者 川島孝治氏(水戸市)

代表者 近藤定男氏 有限会社近藤精密製作所(大田区大森東四ノ一ノ二)
代表者 近藤定男氏は、かねてより一病氣療養中との事、薬石効なく、去る七月二十八日、逝去されました。
代表者 竹中機軸株式会社(大田区西橋谷ノ三ノ二)
代表者 竹中機軸株式会社(大田区西橋谷ノ三ノ二)
代表者 竹中機軸株式会社(大田区西橋谷ノ三ノ二)

代表者 川島孝治氏(水戸市) 十一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 九月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 八月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 七月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 六月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 五月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 四月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 三月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 二月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十二月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 十一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 九月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 八月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 七月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 六月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 五月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 四月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 三月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 二月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十二月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 十一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 九月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 八月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 七月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 六月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 五月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 四月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 三月共同購入業務取扱高

二、〇七三、八七〇円 ② ③
七月十一日 工場見学会(木鶏会) 八月十九日 青年部納涼講習サロン(木鶏会、於花邑)
七月十二日 納涼講習サロン(木鶏会、於重慶大飯店別館) 八月二十日 技術講習会「やさしい図面の見方①」
七月十四日 青年部講習サロン(木鶏会) 八月二十一日 技術講習会「やさしい図面の見方②」
七月十五日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 八月二十二日 中小企業内高危機突破全国代表者大会(木鶏会)
七月十六日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 八月二十三日 技術講習会「やさしい図面の見方③」
七月十七日 工場見学会(木鶏会) 八月二十四日 技術講習会「品質管理①」
七月十八日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 八月二十五日 技術講習会「品質管理②」
七月十九日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 八月二十六日 技術講習会「品質管理③」
七月二十日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 八月二十七日 技術講習会「品質管理④」
七月二十一日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 八月二十八日 技術講習会「品質管理⑤」
七月二十二日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 八月二十九日 技術講習会「品質管理⑥」
七月二十三日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 八月三十日 技術講習会「品質管理⑦」
七月二十四日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 八月三十一日 技術講習会「品質管理⑧」
七月二十五日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 九月一日 技術講習会「品質管理⑨」
七月二十六日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 九月二日 技術講習会「品質管理⑩」
七月二十七日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 九月三日 技術講習会「品質管理⑪」
七月二十八日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 九月四日 技術講習会「品質管理⑫」
七月二十九日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 九月五日 技術講習会「品質管理⑬」
七月三十日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 九月六日 技術講習会「品質管理⑭」
七月三十一日 労働基準法に基づく定期巡回健康診断実施 九月七日 技術講習会「品質管理⑮」

代表者 川島孝治氏(水戸市) 十一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 九月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 八月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 七月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 六月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 五月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 四月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 三月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 二月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十二月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 十一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 九月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 八月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 七月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 六月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 五月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 四月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 三月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 二月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十二月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 十一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 九月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 八月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 七月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 六月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 五月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 四月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 三月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 二月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十二月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 十一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 九月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 八月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 七月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 六月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 五月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 四月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 三月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 二月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十二月共同購入業務取扱高

代表者 川島孝治氏(水戸市) 十一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 九月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 八月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 七月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 六月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 五月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 四月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 三月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 二月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 一月共同購入業務取扱高
代表者 川島孝治氏(水戸市) 十二月共同購入業務取扱高

永年勤続従業員表彰式

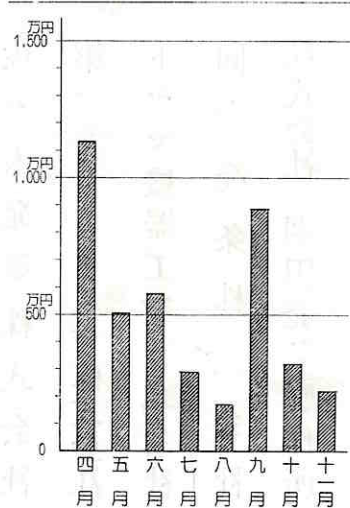
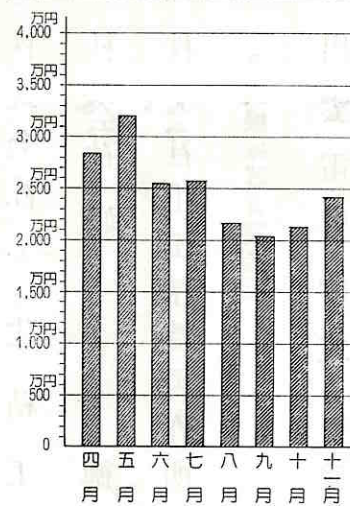


木鶏会忘年会



(前頁より)
 経営者の死と遺族について。
 十月二十二日 パソコン入門講座
 十月二十三日 パソコン入門講座
 十月二十四日 パソコン入門講座
 十月二十五日 紅葉狩(木鶏会、清津峡より大湯温泉へ)
 十月二十五日 パソコン入門講座
 十月二十五日 紅葉狩(木鶏会、大湯温泉より奥只見へ)
 十一月五日 定例経営サロン(木鶏会)
 主な話題
 政府税調各申案について。
 配当金の所得税と地方税について。
 飲食税等の交際費について。
 十一月十二日 常任理事会
 1、報告事項
 事務局より現先の件報告、全員承認。
 2、年内年始事業について

イ、永年勤続従業員表彰式
 代表について
 ロ、放談会について
 ハ、木鶏会忘年会について
 ニ、新春講演会・新春賀詞交換会について
 以上イ・ロ・ハ・この四件について事務局より説明、全員異議なく原案どおり可決。
 3、職員年末手当について
 4、来年度予算について
 来る十一月十八日、再度常任理事会を開催することに決定。
 十一月十三日 朝食会(木鶏会)
 主な話題
 親父の背中と親父のレール。
 人物の見分け方。
 十一月十八日 常任理事会
 1、来年度予算編成について
 2、戸上専務理事よりの要請について
 十一月十八日 青年部経営サロン(木鶏会)
 テーマ「アメリカ視察報告」



師 日本中興株式会社社長 表彰式(於大田区民会館)
 市川 宗統 氏(十一月二十六日 放談会・懇談会)
 十一月二十一日 機関紙「工業蒲田」速報発行
 主な記事
 第五十三回大田区工業展出品受付について。
 自動車ローンは組合で。
 十二月十三日 永年勤続従業員
 1、駐車場土地有効利用について
 2、専務理事よりの要請について

専務理事の要請について審議の結果、来年一月より必要時に出勤することに決定。
 十二月三日 忘年会(木鶏会、於浅草5656会館)
 十二月九日 景況調査
 十二月十日 景況調査
 十二月十一日 理事会
 1、駐車場土地有効利用について

当分の間、現在のまま駐車場とすることに決定。
 十二月十六日 青年部経営サロン(木鶏会)
 主な話題
 現況と見通し並びに対応策について。

監事	監事	会計主任	専務理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	副理事長	理事	顧問	顧問	謹賀新年
豊間	海老名	正龍	戸上	古川	早崎	野口	西野	長坂	鳥海	富田	川瀬	市川	尼ヶ谷	西ヶ谷	杉谷	内田	赤井	岡田	石森	千葉	野口	新海	蒲田工業協同組合
厚教	正教	三司	安司	一郎	一郎	三郎	基秀	保男	耕平	純一	宗一	春一	勝美	順弘	卯助	弘志	清蔵	憲博	憲博	憲博	憲博	憲博	(五十音順)

謹んで新年のお慶びを申し上げます

蒲田工業協同組合員有志

(五十音順)

機械器具製造業

株式会社 旭川製作所
 尼寺空圧工業株式会社
 岩佐工機株式会社
 合資会社 大津鉄工所
 金勝産業株式会社
 坂口精密工業株式会社
 昭和精密工業株式会社
 炭研精工株式会社
 ティ・ヴィ・バルブ株式会社
 東 亜 株 式 会 社
 株式会社東京精密器具製作所
 株式会社 鳥海製作所
 長坂精機株式会社
 日本キエン無段変速機株式会社
 有限会社 蓮沼機械製作所

有限会社 早崎製作所

深尾精機株式会社
 藤田工業株式会社
 株式会社 藤原製作所
 合資会社 古川機械製作所
 株式会社 文化精工
 株式会社 妙 徳
 株式会社山田精機製作所
 電気機械器具製造業
 出雲電機株式会社
 株式会社 小林電機製作所
 太産工業株式会社
 株式会社 東 電 舎
 株式会社 中山電機工芸社
 永森電機株式会社

輸送用機械器具製造業

荏原工業株式会社
 株式会社 大谷造機所
 株式会社 東京ドリル製作所
 西野機械工業株式会社
 株式会社 日伸製作所
 株式会社ユタカ製作所
 金属製品製造業
 江崎工業株式会社
 佐々木発条株式会社
 第一シャーリング工業株式会社
 トヤマ機器工業株式会社
 同和発条株式会社
 株式会社 羽田発条製作所
 株式会社 羽田パイプ製造所
 有限会社 富士精機製作所
 有限会社 船倉金型製作所
 プレス・鋳金業
 株式会社 赤井製作所
 株式会社 内田製作所

岡田鋳金株式会社
 株式会社 清川製作所
 株式会社 清水鉄工所
 多田プレス工業株式会社
 日本中空鋼株式会社
 株式会社 蛭田電機製作所
 製 罐 業
 株式会社 新井久四郎鉄工所

鍍 金 業
 エビナ電化工業株式会社
 鑄物製造業
 有限会社 京浜鑄造所
 杉谷金属工業株式会社
 そ の 他
 河原テント株式会社
 株式会社 気球製作所
 有限会社 桑島印刷所
 株式会社 日章機 械
 有限会社 古川塗装工業所
 宮永化学工業株式会社